

建設産業常任委員会

5 月 21 日～23 日 (所管事項調査)

一 兵庫県神戸市

「神戸医療産業都市 事業について」

神戸市は、阪神・淡路大震災後の経済を立て直すため、平成10年10月に「市民生活の向上」、「神戸経済の活性化」、「国際社会への貢献」を目的として「神戸医療産業都市」の計画検討を開始し、先端医療技術の研究開発拠点を整備し、産学官連携により、21世紀の成長産業である医療関連企業の集積を推進している。

二 奈良県生駒市

「耕作放棄地発生防止・解消活動の取り組みについて」

生駒市では、農地面積約650ヘクタール中1110ヘクタール余りが遊休農地となっていて、その解消に向けて「遊休農地の活用」や「新規就農者支援」を目標に掲げて取り組みを進めた。

三 大阪府大阪市

「栃木県大阪センター 事業について」

栃木県大阪センターは、14年ぶりとなる関西圏の拠点として昨年7月30日に開所された。本センターの開所により、関西圏はもとより、西日本に対して「とちぎのいいもの」、「とちぎのいいとこ」、「とちぎのうまいもの」を売り込む体制が整えられた。現地に拠点があることで、顔の見える関係を築き、観光誘客や企業誘致を戦略的に進め、農産物などの県産品の販路開拓や関西圏等における本県の知名度の向上につなげていくことができる見込まれている。



生駒市役所にて

文教常任委員会

5 月 15 日～17 日 (所管事項調査)

一 富山県高岡市

「文化財保護について」

全国で5つしかない重要有形・無形民俗文化財の御車山。400年以上の歴史は、市民の誇りであり、技術者の育成や文化の継承にも力を入れている。2015年に総工費23億円を掛けて開館した御車山会館はその象徴となる施設である。現在において「ものづくりのまち高岡」を作り上げた根幹が、この御車山の文化財保護となる。

二 富山県富山市

「図書館と美術館の併設について」

市内中心市街地のシンボルであったデパートの跡地を再開発事業により、図書館、美術館、銀行という複合施設を2015年に開館。併設により市民の利便性向上・美術に触れる機会を増やす文化の向上が図られた。また市民だけではなく、市外、県外、海外からも誘客に成功し、来館数300万人を突破している。

三 富山県滑川市

「学力向上の取り組みについて」

学力調査において、全国上位に位置する富山県の中で、トップの滑川市。様々な取り組みの中で、「科学の時間」が特質である。地域の人や優良企業から講師を迎え、「出前講座」による授業。地形の学習には、実際に船に乗り、湾岸から街全体を眺望するなど地元の人や企業に協力を頂きながら、子どもたちの学力向上と合わせて、郷土愛を育む教育を行っている。



複合施設TOYAMAキラリにて